

芸備組



井上 智源  
いのうえ ちげん

芸備組は、広島県の中郡から北部にかけて位置しており、安芸高田市・三次市・庄原市の三市にまたがる広範囲な地域に寺院数は六カ寺、小さな組です。まとまりやすいが集まり難いという特徴があります。

教化事業は、組門徒研修会を中心年二回開催、現在は『歎異抄』をテキストとして門徒・住職・寺族がともに学びの場を共有しています。

一昨年度、推進員養成講座が修了し、新たに二十二名の推進員が誕生。これまでの推進員の組織を見直して、真宗同朋の会推進員連絡協議会(芸推協)を再構築し、新たな歩みが始まったところです。

地域は、過疎・高齢化の波の中、寺院間の共同教化の在り方など課題はいろいろで知恵を絞っていかねばならないと思っています。

東光坊 井上 智源

安芸北組



菅川 知由  
すがかわ さとゆき

中国山地の懐深く、島根県の浜田市に隣接する自然豊かな安芸北組は、春の新緑、夏の登山、秋の紅葉、冬の樹氷、この素晴らしい自然の中で、六カ寺が、門信徒のみなさんと共にお念仏を申しています。八月の早朝、すがすがしい時間を利用し、六時から暁天講座が六日間にわたって始まります。講師は組内の住職が勤め、会所は六カ寺を回ります。平素お会いすることの出来ない方々とお会いし、お念仏申す身の喜びを感じる素晴らしいひと時です。

光樂寺 菅川 知由



安芸南組



灘尾 寛  
なだお ひろし

安芸南組は広島別院の崇敬組の一つということもあり、広島別院の活性化を企図し、別院との共同教化活動を実施しています。具体的な活動としては、大谷派門徒のみならず、広く一般を対象とした「真宗基礎講座」などの公開講座を開催中です。

また、今後の課題としては、被爆地広島にあつて、戦争や被爆の体験者が年々少なくなっている現在、寺院における戦時中の資料や被爆体験談のアーカイブ化などがあります。

徳榮寺 灘尾 寛

広報部よりお知らせ

表紙のマークをスマートフォンQRコードリーダーで読み取っていただく、教区のホームページを見ることでできます。ためしてみてね。

教区ホームページ  
http://sanyo-kyoku.jp/wp/

Facebook  
@sanyokyoku

Twitter  
@sanyokyoku\_koho

Pax  
079 - 292 - 1747

E-mail  
sanyo@higashihonganji.or.jp

各種関係書類がダウンロードできます。

ホームページ上で各種団体等、催しもの等、掲載できます。

※所定の用紙に記入の上、FAX or E-mailでお知らせください。  
・みなさまがたのご意見、ご感想、ご要望等、をお聞かせください。



めぎメェくん あゆモウちゃん

編集後記

第一号は、いかがでしたでしょうか？

今度写真のご本人に会われた方は、「聞十方見たよ」と、それぞれの方に声かけをしてくださるとありがたいです。

第二号では、それぞれの組の地図的な位置を確認しながら、それぞれの教化委員長さんが提示してくださった組の状況を読むことができます。それぞれの地域においてのそれぞれの課題を考えながら、組を超えた交流に役立てればと思います。

合掌



第一組



都築 史典  
つづき ふみのり

第一組は姫路市西部、太子町、たつの市と広範囲にわたる十六カ寺によって構成されています。各寺院が真宗の教えを門徒と共に聴聞する場を開いています。また、組として育成員はもろんのこと、門徒会、推進員、坊守会、女性同朋会がそれぞれに研修会を開催し、幅広く教化活動を実施しています。今年度は「今こそ、真宗門徒になろう!!」のテーマのもと、正親久美子氏(第一組西寶寺坊守)を講師に迎え、推進員養成講座が始まりました。僧俗共に真宗門徒の一人となるよう、宗祖の教えにわが身をたずねる大切な縁となり、またあらゆる人々を御同朋として見出していく関係を育む念仏の僧伽の再興を願い、講師及びスタッフが連携して取り組んでいます。

浄因寺 都築 史典

神戸組



廣田 哲也  
ひろた てつや

神戸組は神戸市の中央区から西への垂水区までを範囲とし、現在活動している寺院は十九カ寺です。特色は寺と門徒との地域的な繋がりは見られず、門徒宅が多方面に分散していることです。

また阪神・淡路大震災で、家屋が倒壊焼失し、他府県や郊外へ転住された家庭が多くみられ、門徒数も激減しております。一方、教化活動としては門徒会が中心となつて「神戸聞法会」が開かれ、組内の住職中心に法話が行われております。また『神戸組だより』『せせらぎ通信』を発行し、教化冊子を中心とした活動にも努力しております。これからもよろしく願っています。

正蓮寺 廣田 哲也

「組教化委員長会議開催」

七月二十七日、教区同朋会館(姫路)において、組教化委員長会議が開催されました。組教化委員長とは、各組の教化事業を推進していく責任者です。

山陽教区は全十五カ組に分かれています。そのうち十四カ組は組長が組教化委員長を兼任しています。第七組のみ、組長とは別に組教化委員長を立てています。

このたびの組教化委員長会議では、教区教化委員会が新体制(※『聞十方』創刊号を参照)となつたことを受けての概要説明と、二〇一七年度の教区教化事業計画について事務局より説明がありました(※事業計画の詳細は二〇一七年度『山陽教区事務連絡冊子』(黄緑色)を参照のこと)。

教区の方針を受けて、教区と各組が有機的につながりつつ、それぞれの現場で浄土真宗の教えが薫習し、念仏申す人と場が次々に興出していくことが願われています。聞法精進してまいります。



組教化委員長会議のようす

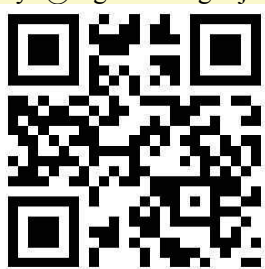
聞十方

真宗大谷派山陽教区教化委員会  
広報・情報発信部門広報誌  
もんじつぽう

教区全体に声が届きますように

第2号

発行日 2017年12月1日  
発行者 山陽教区教化委員長 木曾 修  
発行所 〒670-0044 姫路市地内町1番地  
Tel 079-292-3690  
Fax 079-292-1747  
Email-mail sanyo@higashihonganji.or.jp



第二組



南枝 暁  
なんし さとる

第二組は、兵庫県西部、たつの市・宍粟市・佐用町・姫路市・林田町の二十六カ寺で構成されています。

今年度は、教区指定推進員養成講座の実施年度にあたり、講座名称を親しみやすく、講座終了後も聞法の間が続き、いくつという願いで「しんらんさんの集い」としました。神戸戸玉龍寺の五百井正浩師をご講師にお迎えし、三十七名の受講者とスタッフの推進員と寺族が一体となって現在取り組んでいます。



龍寶寺 南枝 暁

第三組は、姫路船場別院のお膝元でもあり、姫路市の中心部に位置します。寺院数は二十六カ寺。前年度には第三巡目の推進員養成講座を修了し、今回新しい推進員が五十二名誕生しました。受講された方々は、当初は緊張もあって皆固い表情だったのが、第六回の本講座を終えてみると「また集まってみよう」「何か聞かせて頂く場があれば」との声が出るほどの盛り上がりで終えることができました。

真宗入門講座を開催し、「真宗のこれからを学べる場」を新たに作っていきたくと計画しています。そこには推進員の方々だけでなく、門徒会・女性同朋の会の方々にもお声掛けをさせて頂き、広く共に学べる場の共有。そして、次年度以降には、全体の様子を見ながらではあります。本山御正忌報恩講への団体参拝と京都観光を合わせ、三回の親睦も深める事ができればと考えています。

圓徳寺 鶴岡 宏之



鶴岡 宏之  
つるおか ひろゆき

第三組



伊勢田 至  
いせだ いたる

第四組

第四組は姫路市西部を流れる夢前川と菅生川流域に程近い地域に立地する二十三カ寺で構成している。今年度は「共に相会（あひあ）まり遇（あ）わん」（化身土巻）を教化目標とし、聞法の場合の参加を優先させ談合すること、念仏の教えを自他ともに深化させることを目指す。

組としての最大の事業は、毎年度末に開催する同朋大会で、真宗教義はもとより社会問題、文化的イベント等を通じて、僧俗ともに教えを深めるべく継続している。また各寺院交替で会所を担当しながら、聞法と荘厳作法を学ぶ門徒巡回研修を行うなど、例年多くの事業を推進している。

勝瑞寺 伊勢田 至



村上 真  
むらかみ まこと

第五組

第五組は加古川市（七カ寺）高砂市（十カ寺）姫路市（三カ寺）で構成されています。

年に二回、組推進員協議会のお手伝いにより実施しています組同朋会を活動の柱としています。組推進員協議会は独自の勉強会を年六回持つており、組推進員協議会が不足しているところは、第五組の活動を語ることはできません。

聞くこと、話すことを基本においた活動は所属寺院の枠をこえ友情関係を育みはじめています。その関係を全カ寺（二十カ寺）に広げていくことが目標です。

稱徳寺 村上 真



藤本 潤  
ふじもと じゅん

第六組

第六組は、明石市・神戸市・神戸市西区・三木市・洲本市の計七カ寺で構成されています。

広範囲かつ少ない寺院数の組であることは、組の教化活動を行う場合に大きな影響を与えています。例えば三年前に行った推進員養成講座では、寺院だけではスタッフ数が足りず、複数の御門徒の方にお願ひし、しかもその中の二人は受講者兼スタッフという離れ技を演じていただきました。毎回組内総動員で行事を行う事は大変ですが、反面で関係が密になるとも言えます。今後、組の教化活動を充実させていくにはどうすればよいかを課題としています。

正覺寺 藤本 潤

第七組



武田 典久  
たけだ のりひさ

第七組は、姫路市・神崎郡・加西市・加東市・小野市の広範囲に渡る計十四カ寺で構成されています。

年間の教化事業の他、隔年ごとに推進員養成講座を組独自開催しております。

推進員になられた「門徒」が新たなスタッフとなり、受付、司会、進行、座談、発表等を担ってくださいます。

研修会場は、組内の寺院でおこないますので、それぞれのお寺の状態をお互いに知ることとなり、それが刺激となり、いろいろな面での活性化にも繋がっています。

また、年に一度の一泊の門徒研修旅行や、京都でのナムナム大集会への参加、三・一の一の原発事故以後、「くらくのあまり風プロジェクト」として福島に食材を送る活動などを「門徒と連携して継続的に」行ってまいります。

真行寺 武田 典久

赤穂組



源 誓純  
みなもと せいじゅん

赤穂組は、播磨南西部のエリアにあり、赤穂市内、相生市内、上郡町内、二市一群の二十カ寺の寺院によって構成されている。

赤穂別院妙慶寺を中心活動拠点とし、坊守会、門徒会・組推協等の講座・研修会を行っている。また、組内有志による四季の会では、報恩講・寺院葬儀などのお荘厳・儀式の意義について研修を行っている。

今後、各会員の方々の「ご意見、ご希望を聞きつつ僧俗一体化をめざしていきたい」と思います。

萬福寺 源 誓純

美作組



足利 博司  
あしかが ひろし

美作組は、岡山県の北部に位置し、津山市、美作市、美咲町のエリアにあり、七カ寺から構成されています。

今年度は、「人に出会う、サンガを作ろう」をテーマにして、教化活動をしていきます。

組内の事業計画としては、組推協聞法会を三回、寺族研修会（輪読）を四回、女性同朋の会を二回、同朋大会、音会を開催いたします。

金龍寺 足利 博司

備中組



勝間 靖  
かつま やすし

備中組（十四カ寺）は岡山県の南は瀬戸内海、北は鳥取県境、東西は兵庫県から広島県までと広域にわたった組です。近年、青年寺族が組の行事に積極的に関わること、活発で充実した研修を行っている。また、同じ岡山県の美作組との育成員・門徒会員研修会、備後組とのEブロック同朋の会研修会と、近隣組と合同で研修会を行っています。

昨年度は念願であった推進員養成講座を青年寺族・同推進役員が中心となり、組独自開催することもできました。今年度は、寺族・門徒共々に組教化テーマ『念仏の教えが響き合う生活を』を中心とした教化活動を進めたいと思います。

光明坊 勝間 靖

備後組



広住 浩史  
ひろすみ こおし

備後組は広島県東部に位置し福山市に二十一カ寺、世良町に一カ寺、三原市に一カ寺の二十三カ寺で構成されています。

組の教化事業は育成員研修会、声明講習会、坊守会学習会、門徒会研修会、同朋婦人連合会研修会、福島の子どもたちの保養事業、また隣接する岡山県西部の備中組と合同でEブロック同朋の会研修会を毎年行っています。

これから備後組教化委員長として三年間、組内寺院の方々はもとより組内推進員方々とも連携を図り、より一層の聞法教化につながるよう励んでいきたいと思えます。宜しくお願い致します。

正蓮寺 広住 浩史